



平成31年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成31年2月12日

上場会社名 ゼット株式会社

上場取引所 東

コード番号 8135 URL <http://zett.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 渡辺 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 林 賢志

TEL 06-6779-1171

四半期報告書提出予定日 平成31年2月14日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成31年3月期第3四半期の連結業績(平成30年4月1日～平成30年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
31年3月期第3四半期	31,227	9.2	373	37.4	448	33.2	351	14.6
30年3月期第3四半期	28,586	2.4	271	35.7	336	29.4	306	25.8

(注) 包括利益 31年3月期第3四半期 517百万円 (24.4%) 30年3月期第3四半期 684百万円 (246.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
31年3月期第3四半期	17.96	
30年3月期第3四半期	15.67	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
31年3月期第3四半期	22,304	9,268	41.6	473.47
30年3月期	21,113	8,828	41.8	451.03

(参考) 自己資本 31年3月期第3四半期 9,268百万円 30年3月期 8,828百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
30年3月期		0.00		4.00	4.00
31年3月期		0.00			
31年3月期(予想)				4.00	4.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

30年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

31年3月期 期末配当金の内訳 普通配当 2円00銭 特別配当 2円00銭

3. 平成31年3月期の連結業績予想(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	3.0	520	2.6	600	1.9	460	13.3	23.50

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	31年3月期3Q	20,102,000 株	30年3月期	20,102,000 株
期末自己株式数	31年3月期3Q	526,932 株	30年3月期	526,846 株
期中平均株式数(四半期累計)	31年3月期3Q	19,575,121 株	30年3月期3Q	19,575,160 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や設備投資の増加により、緩やかな景気回復基調が続いております。一方、通商問題の動向が世界経済に与える影響や海外経済の不確実性、金融資本市場の影響が懸念され、先行きは依然として不透明な状況が続いております。

このような状況の中で当社グループは、①自社品の強化、②卸ビジネスの進化、③新規商品、新規流通の開拓と新規事業へのチャレンジ、④生産性の向上、⑤人財の活性化・情報システムの整備と高度化・物流機能の強化、⑥グループ内の連携強化を基本方針とし、業績向上に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,227百万円(前年同期比9.2%増)、営業利益は373百万円(前年同期比37.4%増)、経常利益は448百万円(前年同期比33.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は351百万円(前年同期比14.6%増)となりました。

部門別の業績は、次のとおりであります。

(卸売部門)

卸売部門は、「アスレチックス」マーケットにおいては、競技ウェアが苦戦したものの、野球・ソフトボール用品、競技シューズは好調に推移しました。また、卓球用品、サッカー用品は堅調に推移しました。シウラスポーツ用品㈱からの事業譲受により、取扱いブランド等が増加した「ライフスタイル」マーケットは、バッグ、シューズ、アウトドア等が好調に推移しました。「ボディケア」マーケットは、健康志向の高まりもあり好調に推移しました。

この結果、売上高は29,845百万円(前年同期比9.5%増)となりました。

(製造部門)

製造部門は、収益性を意識し、MD力、商品企画、開発力の強化並びに品質向上に努めました。野球・ソフトボール用品においては、ビームデザインプロデュース商品が注目を集め、一般軟式FRP製バット「ブラックキャノンZⅡ」やオーダーグラブ等が引き続き高評価を得て堅調に推移しました。「コンバース」のバスケットボール用品においては、ゲームウェアは販促活動により高評価を得て堅調に推移したものの、他社の新規参入の増加により低調に推移しました。健康関連用品は、低調に推移しました。

この結果、売上高は257百万円(前年同期比5.2%増)となりました。

(小売部門)

小売部門は、登山用品ECサイト「ロッジ PREMIUM SHOP」は引き続き堅調に推移しましたが、店頭においては、秋以降は例年より気温が高く推移したことや消費者の購入形態の変化等により低調に推移しました。

この結果、売上高は346百万円(前年同期比0.9%減)となりました。

(その他部門)

スポーツ施設運営部門は、顧客満足度向上等に努めましたが、近隣の競合店との競争激化が続いており低調に推移しました。物流部門は、外部受託業務における取り扱いを増加させたことにより堅調に推移しました。

この結果、売上高は778百万円(前年同期比7.0%増)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、流動資産が17,308百万円となり、前連結会計年度末に比べ987百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が1,216百万円減少したものの、現金及び預金が1,559百万円、電子記録債権が444百万円増加したことによるものであります。固定資産は4,996百万円となり、前連結会計年度末に比べ204百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が229百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は22,304百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,191百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は10,856百万円となり、前連結会計年度末に比べ751百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が981百万円減少したものの、電子記録債務が1,872百万円増加したことによるものであります。固定負債は2,180百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円増加いたしました。これは主に長期借入金が99百万円減少したものの、繰延税金負債が69百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は13,036百万円となり、前連結会計年度末に比べ752百万円増加いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計年度末における純資産合計は9,268百万円となり、前連結会計年度末に比べ439百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が273百万円、その他有価証券評価差額金が153百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は41.6%（前連結会計年度末は41.8%）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、平成30年5月14日の「平成30年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）」で公表しました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,748	5,307
受取手形及び売掛金	8,271	7,055
電子記録債権	698	1,142
商品及び製品	3,321	3,498
仕掛品	43	48
原材料及び貯蔵品	136	135
その他	160	175
貸倒引当金	△58	△56
流動資産合計	16,321	17,308
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,868	2,866
減価償却累計額	△2,104	△2,139
建物及び構築物 (純額)	764	726
土地	1,228	1,228
その他	891	942
減価償却累計額	△774	△817
その他 (純額)	116	125
有形固定資産合計	2,108	2,079
無形固定資産		
その他	78	77
無形固定資産合計	78	77
投資その他の資産		
投資有価証券	1,982	2,211
長期貸付金	24	19
敷金	245	249
その他	420	445
貸倒引当金	△69	△86
投資その他の資産合計	2,604	2,839
固定資産合計	4,791	4,996
資産合計	21,113	22,304

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成30年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成30年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,621	5,640
電子記録債務	2,187	4,060
短期借入金	200	150
未払法人税等	27	91
未払消費税等	188	86
賞与引当金	207	219
返品調整引当金	49	68
その他	623	540
流動負債合計	10,105	10,856
固定負債		
長期借入金	209	109
繰延税金負債	479	548
退職給付に係る負債	359	369
長期未払金	267	267
その他	863	884
固定負債合計	2,178	2,180
負債合計	12,284	13,036
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,005	1,005
資本剰余金	2,968	2,968
利益剰余金	3,839	4,113
自己株式	△74	△74
株主資本合計	7,739	8,012
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,101	1,255
繰延ヘッジ損益	△14	0
為替換算調整勘定	20	15
退職給付に係る調整累計額	△17	△15
その他の包括利益累計額合計	1,089	1,255
純資産合計	8,828	9,268
負債純資産合計	21,113	22,304

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
売上高	28,586	31,227
売上原価	23,067	25,303
売上総利益	5,519	5,924
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	358	393
運賃及び荷造費	533	586
賃借料	185	195
役員報酬及び給料手当	2,054	2,187
貸倒引当金繰入額	△2	21
賞与引当金繰入額	172	204
減価償却費	101	93
その他	1,845	1,867
販売費及び一般管理費合計	5,247	5,550
営業利益	271	373
営業外収益		
受取利息	0	1
受取配当金	28	41
受取賃貸料	13	14
業務受託料	26	11
その他	31	40
営業外収益合計	100	109
営業外費用		
支払利息	1	1
売上割引	29	28
その他	3	3
営業外費用合計	34	33
経常利益	336	448
税金等調整前四半期純利益	336	448
法人税、住民税及び事業税	30	97
法人税等合計	30	97
四半期純利益	306	351
親会社株主に帰属する四半期純利益	306	351

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成30年4月1日 至平成30年12月31日)
四半期純利益	306	351
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	387	153
繰延ヘッジ損益	△13	14
為替換算調整勘定	0	△5
退職給付に係る調整額	2	2
その他の包括利益合計	377	166
四半期包括利益	684	517
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	684	517

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社グループは、スポーツ事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。